

来年1月 事業開始

メイワパックス 鳥取進出協定調印

鳥取市晩稲の旧三洋電機の関連工場跡に進出、鳥取工場を立ち上げる包装資材製造販売の明和産商（大阪市天王寺区）を傘下に置くメイワパックス（大阪府柏原市）の増田淳社

長と平井伸治鳥取県知事、深沢義彦鳥取市長が17日、知事公邸で進出協定に調印した。2018年1月の事業開始を予定、6年間で約20億円を投資し、約50人を雇用する。

同社は食品、化粧品や医療品などのパッケージの製造販売を手掛ける。鳥取工場はグループの中核工場となる。土地（約9千平方メートル）



増田社長（中央）からメイワパックスの製品の説明を受ける平井知事（左）と深沢市長＝17日、知事公邸

と建物（3階建て、延べ床面積6600平方メートル）を取得し、他拠点からの5人と新たに雇用する10人の体制でスタート、当初の売り上げは6億円を目指す。

豊岡工場からの原材料移送の便や災害時の事業継続の面から鳥取を適地と判断した。行政の支援は事業計画に依りて市から約2億円、県から約3億円程

度とみられる。増田社長は「事業活動を通じて一日も早く地域の発展に寄与していきたい」と意気込みを語った。（真田透）